

# IR report

## 第76期 中間決算のご報告

2010年4月1日～2010年9月30日



 KYOKUTO

極東開発工業株式会社

証券コード:7226

## トップメッセージ



株主の皆様におかれましては、ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、2010年4月1日から2010年9月30日までの当社第76期第2四半期の営業の概況についてご報告申し上げます。

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、企業収益に回復の兆しがみられるものの、円高の進行や厳しい雇用環境等により、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況下、当社グループは、本年4月からスタートした中期経営計画「Plan2010」（2010年4月～2013年3月）の基本方針のもと、現在の市場規模にあわせた企業体質の転換や海外展開の推進、「環境」「安全」「グローバル」をキーワードとした製品開発等にグループ一丸となって取り組みました。

主力の特装車事業につきましては、国内のトラック市場が補助金の効果等により一時的に回復が見られたものの、依然として厳しい環境が続きました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は前年同期と比較して、売上高は特装車事業の増加により3,746百万円（15.6%）増加して27,689百万円となりました。これにより、営業損益は1,461百万円改善して227百万円の利益、経常損益は1,500百万円改善して180百万円の利益、四半期純損益は1,128百万円改善して111百万円の利益となりました。

今後の見通しにつきましては、我が国経済はエコポイント等の景気刺激策の効果が弱まる他、依然として円高進行の懸念があるなど、引き続き不安定な状況が継続するものと思われま

また、当社が関連する業界の景気は、新車購入補助金の終了に伴うトラック需要の反動減が懸念されるなど、引き続き厳しい状況で推移するものと見込まれます。

このような状況のもと、当社は中期経営計画「Plan2010」を強力に実行することにより利益の確保に努め、引き続き、国内体制改善、海外事業の強化など、業績の更なる向上策にグループ一丸となって取り組んでまいります。

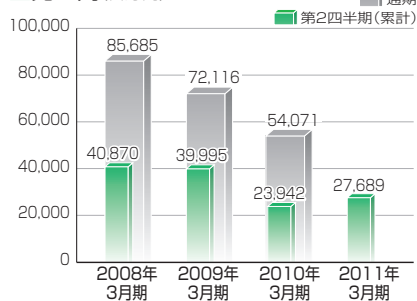
株主の皆様におかれましては、引き続き変わらぬご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

2010年12月

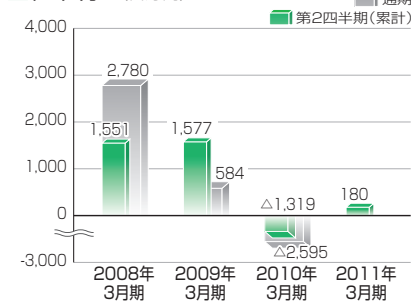
取締役社長 筆谷高明

## 連結業績ハイライト

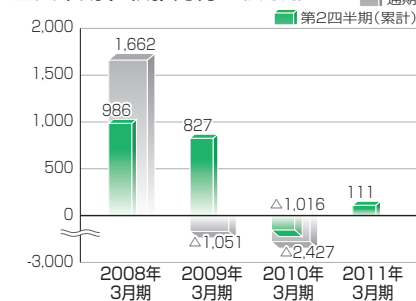
■売上高(百万円)



■経常利益(百万円)



■四半期(当期)純利益(百万円)



### 環境を考えたものづくり～電動特装車ラインナップ～

当社は環境保全機器を製造・販売する企業として、ISO14001を取得するなどの環境活動に率先して取り組み、循環型社会形成に寄与するとともに、環境を意識した生産活動を継続的に推進しております。また、2010年1月に発売した電動ごみ収集車「eパッカー」をはじめとした、CO<sub>2</sub>削減、騒音低減などの環境負荷の改善に貢献する製品ラインナップを展開しています。当社では、今後ともエコ社会に貢献する製品展開を強化します。

電動ごみ収集車「eパッカー」 2010年1月発売



2トンプレス式「eパッカー」

電動コンクリートポンプ車「ツインドライブピストンクリート®」

2010年4月発売



日本初のリチウムイオンバッテリーで圧縮装置を駆動させる電動ごみ収集車です。「eパッカー」は三菱自動車工業株式会社の新世代電気自動車「i-MiEV(アイ・ミーブ)」のバッテリーを使用しており、収集作業中のエンジン停止を可能にした結果、CO<sub>2</sub>排出量の削減および超低騒音を実現しました。

第1号機は京都市様に納入後、市内各所でのごみ収集や小学校での環境教育などに使用されています。また、プレス式に加え新たに回転板式もラインナップし、お客様の幅広いニーズにお応えします。

## eco NEWS.1

### 「eパッカー」を展示会に出展



5月25日(火)から28日(金)に東京ビッグサイトで開催された「2010NEW環境展」に、電動ごみ収集車「eパッカー」(新デザイン4トンプレス式・2トン回転板ダンプ式の2台)および環境機器(極東・トレマッシュェ、RDFシステム)を出展し、非常に好評を得ました。

## eco NEWS.2

### 社用車に電気自動車を導入



「eパッカー」のバッテリーシステム供給元である三菱自動車工業株式会社の電気自動車「i-MiEV」を社用車として導入しました。

走行中の排気ガスおよびCO<sub>2</sub>排出量がゼロである当車は業務用車として日々稼働しています。

また、当社ではその他の車両についてもハイブリッド車の導入を推進するなど、日常業務においても環境を考慮した活動を進めています。

## 新製品トピックス

ワイドな投入口でラクラク積み込み！実積載量も大幅アップ！

### ごみ収集車「プレスパック® ダンボール専用車」

ダンボール収集の専用車として開発したごみ収集車で、大型のダンボールにも対応できるよう投入口を拡大し、積み込み性を向上しました。また、ボデー容量のアップにより、実積載量が大幅にアップ。さらに、プレスプレートの形状変更により効率的な積み込みを実現するとともに、ホッパ底面をR形状とすることで、ダンボールの引っ掛かりも低減しました。



5



POINT

- ワイドな投入口でラクラク積み込み（投入口幅が1,910mmに拡大(当社従来比 +200mm)）



POINT

- 積載量も大幅アップ！  
デイスチャーージシリンダ（排出板用のシリンダ）の配置変更によりボデー容量が10.9㎡(当社従来比 +0.7㎡)になりました。

短尺トレーラをフルモデルチェンジ！低全高でほぼ全ての油槽所に対応！

### 「2軸24kL角形アルミタンクセミトレーラ」

タンクの形状を楕円形から角形にすることで、タンク容量と全長を変えることなく、より低い全高を実現したタンクトレーラです。これによりほぼ全ての油槽所に対応しています。

さらに、タンク形状の変更に伴う低重心化(当社従来比  $\Delta 60\text{mm}$ )による走行安定性の向上や横転抑制装置(ROC=Roll-Over Control)の標準装備、エアサスペンションの採用などにより、安定性、安全性、排出性の向上を図りました。

なお、当製品はグループ会社の日本トレクス株式会社との共同開発です。



角形タンクでほぼ全ての油槽所に対応  
(全高  $\Delta 90\text{mm}$ (当社従来比))



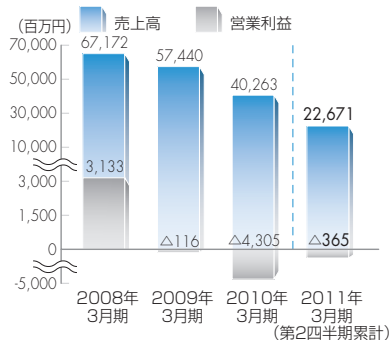
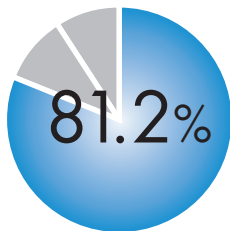
### GVW22トン車に30メートル級ブーム搭載！新油圧システムで騒音、振動を低減！ 新型コンクリートポンプ車「ピストンクリート®PY100-30-S」

取り回しがよく市場ニーズが高いGVW22トン車に30メートル級のブームを搭載したコンクリートポンプ車です。新油圧システムと、クラス最長のロングストローク1,900mmの新油圧シリンダの搭載により、作業時の騒音・振動の抑制と耐久性を両立させました。また、カウンタバランスバルブにより、作業時に万が一ブームシリンダの油圧配管を損傷しても、シリンダを保持し、ブームの降下を防ぐなど安全性・信頼性にも配慮しています。

## セグメント別概況

### ◆ 特装車事業

売上構成比



特装車事業につきましては、国内トラック市場の低迷が続いておりますが、新車購入補助金や排気ガス規制強化前の駆け込み需要の効果により、一時的に回復の傾向が見られました。海外は、一部の地域では改善の兆しが見られましたが、全体としては低調に推移いたしました。

このような状況のもと、当社は、受注の確保を図るとともに、生産の合理化や集中購買、内製化等による原価低減、固定費の圧縮等による損益の



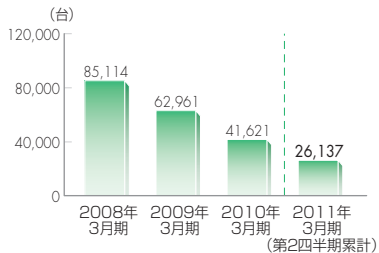
粉粒体運搬車  
(22トンエアスライド式 ジェットパック®)



フラットパネルバンボデー



## 国内普通トラック登録台数の推移



改善に継続して取り組みました。

この結果、売上高は5,219百万円(29.9%)増加して22,671百万円となりました。営業損益は、売上高の増加により1,511百万円改善して365百万円の損失となりました。



リヤデッキ昇降式  
コンテナトレーラ

## 新製品トピックス

### 床下格納式「パワーゲート®CG1000TS」

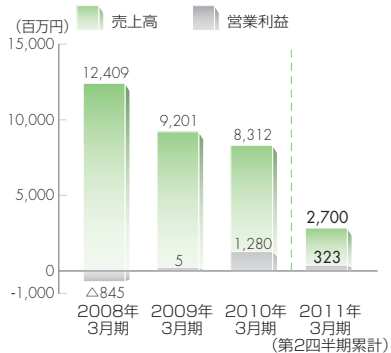
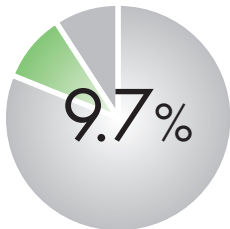
リフト能力が従来の800kgから1,000kgに大幅アップ。さらに、荷物を乗せるプラットフォームの有効長は業界トップクラスで、取り付け対象の車両の大きさに合わせて3種類のタイプ(タイプ-S、タイプ-M、タイプ-L)をラインナップしました。また、リヤオーバーハングの短い車両にも対応ができるようになったため、取付車種が大幅に拡大しました。



# セグメント別概況

## ◆ 環境事業

### 売上構成比



極東・トレマッシュ® 破碎機



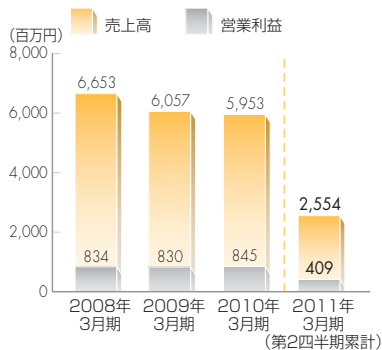
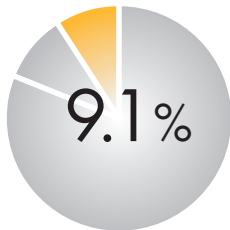
リサイクルプラザ

環境事業につきましては、メンテナンス・運転受託に注力するとともに、プラント部門における採算重視の選別受注に継続して取り組み、利益の確保に努めました。

この結果、プラント部門の工事進行基準売上高が一時的に減少した影響により、売上高は965百万円(26.3%)減少して2,700百万円、営業利益は、59百万円(15.5%)減少して323百万円となりました。

## ◆ 不動産賃貸等事業

### 売上構成比



不動産賃貸等事業につきましては、立体駐車装置のメンテナンス、リニューアル事業への注力や、原価低減によるパーキング事業全体の損益の改善に努めましたが、市場低迷の影響により、いずれも厳しい受注環境が続きました。

この結果、売上高は471百万円(15.6%)減少して2,554百万円となりました。営業利益は39百万円(8.9%)減少して409百万円となりました。



立体駐車装置 (地下パーク 3N)



コインパーキング (P.ZONE®)

# 連結財務諸表(日本基準)

## 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

| 科 目         | 前第2四半期<br>2009年9月30日現在 | 当第2四半期<br>2010年9月30日現在 | 前 期<br>2010年3月31日現在 |
|-------------|------------------------|------------------------|---------------------|
| <b>資産の部</b> |                        |                        |                     |
| 流動資産        | 41,968                 | 44,422                 | 41,425              |
| 固定資産        | 43,524                 | 43,242                 | 43,872              |
| 有形固定資産      | 36,322                 | 35,589                 | 36,080              |
| 無形固定資産      | 416                    | 369                    | 392                 |
| 投資その他の資産    | 6,785                  | 7,283                  | 7,399               |
| <b>資産合計</b> | <b>85,492</b>          | <b>87,665</b>          | <b>85,298</b>       |

| 科 目            | 前第2四半期<br>2009年9月30日現在 | 当第2四半期<br>2010年9月30日現在 | 前 期<br>2010年3月31日現在 |
|----------------|------------------------|------------------------|---------------------|
| <b>負債の部</b>    |                        |                        |                     |
| 流動負債           | 18,623                 | 20,191                 | 19,858              |
| 固定負債           | 12,939                 | 15,343                 | 13,080              |
| <b>負債合計</b>    | <b>31,562</b>          | <b>35,534</b>          | <b>32,938</b>       |
| <b>純資産の部</b>   |                        |                        |                     |
| 株主資本           | 53,614                 | 52,076                 | 52,083              |
| 資本金            | 11,899                 | 11,899                 | 11,899              |
| 資本剰余金          | 11,718                 | 11,718                 | 11,718              |
| 利益剰余金          | 32,140                 | 30,602                 | 30,610              |
| 自己株式           | △ 2,145                | △ 2,145                | △ 2,145             |
| 評価・換算差額等       | 315                    | 53                     | 275                 |
| その他有価証券評価差額金   | 224                    | 105                    | 294                 |
| 為替換算調整勘定       | 90                     | △ 51                   | △ 18                |
| <b>純資産合計</b>   | <b>53,929</b>          | <b>52,130</b>          | <b>52,359</b>       |
| <b>負債純資産合計</b> | <b>85,492</b>          | <b>87,665</b>          | <b>85,298</b>       |

## 四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

| 科 目                                   | 前第2四半期 (累計)                 | 当第2四半期 (累計)                 | 前 期                         |
|---------------------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|
|                                       | 2009年4月1日から<br>2009年9月30日まで | 2010年4月1日から<br>2010年9月30日まで | 2009年4月1日から<br>2010年3月31日まで |
| 売上高                                   | 23,942                      | 27,689                      | 54,071                      |
| 売上原価                                  | 20,240                      | 22,821                      | 45,400                      |
| 売上総利益                                 | 3,702                       | 4,868                       | 8,671                       |
| 販売費及び一般管理費                            | 4,936                       | 4,640                       | 11,242                      |
| 営業利益又は営業損失(△)                         | △ 1,233                     | 227                         | △ 2,571                     |
| 営業外収益                                 | 265                         | 292                         | 527                         |
| 営業外費用                                 | 351                         | 339                         | 552                         |
| 経常利益又は経常損失(△)                         | △ 1,319                     | 180                         | △ 2,595                     |
| 特別利益                                  | 1                           | 91                          | 6                           |
| 特別損失                                  | 63                          | 118                         | 362                         |
| 税金等調整前四半期純利益又は<br>税金等調整前四半期(当期)純損失(△) | △ 1,381                     | 153                         | △ 2,951                     |
| 法人税等                                  | △ 365                       | 41                          | △ 524                       |
| 少数株主損益調整前四半期純利益                       | —                           | 111                         | —                           |
| <b>四半期純利益又は四半期(当期)純損失(△)</b>          | <b>△ 1,016</b>              | <b>111</b>                  | <b>△ 2,427</b>              |

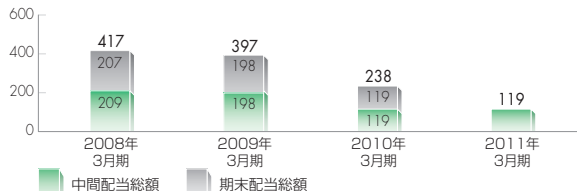
## 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

| 科 目                         | 前第2四半期 (累計)                 | 当第2四半期 (累計)                 | 前 期                         |
|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|
|                             | 2009年4月1日から<br>2009年9月30日まで | 2010年4月1日から<br>2010年9月30日まで | 2009年4月1日から<br>2010年3月31日まで |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー            | 2,431                       | 574                         | 5,758                       |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー            | △ 1,802                     | △ 172                       | △ 2,695                     |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー            | △ 1,788                     | 2,663                       | △ 2,353                     |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額            | 2                           | △ 6                         | 22                          |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少)         | △ 1,156                     | 3,058                       | 732                         |
| 現金及び現金同等物の期首残高              | 10,334                      | 11,067                      | 10,334                      |
| <b>現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高</b> | <b>9,178</b>                | <b>14,126</b>               | <b>11,067</b>               |

### ■ 配当総額の推移

(百万円)



## 会社概要

|           |  |
|-----------|--|
| ■ 商 号     | 極東開発工業株式会社<br>KYOKUTO KAIHATSU KOGYO CO., LTD. |
| ■ 設 立     | 1955年6月1日                                      |
| ■ 資 本 金   | 11,899,867,400円                                |
| ■ 従 業 員 数 | 連結 2,172名 単独 820名                              |

## 役 員

|                   |         |
|-------------------|---------|
| 取 締 役 会 長         | 田 中 勝 志 |
| 代表取締役社長最高執行責任者    | 筆 谷 高 明 |
| 代表取締役専務専務執行役員     | 中 井 一 喜 |
| 取 締 役 常 務 執 行 役 員 | 安 岡 嘉 宏 |
| 取 締 役 執 行 役 員     | 植 山 友 幾 |
| 取 締 役 執 行 役 員     | 高 島 義 典 |
| 取 締 役 執 行 役 員     | 熊 沢 紀 博 |

|           |           |
|-----------|-----------|
| 執 行 役 員   | 西 川 柳 一 郎 |
| 執 行 役 員   | 西 田 正 和   |
| 執 行 役 員   | 林 篤 昌     |
| 執 行 役 員   | 杉 本 治 己   |
| 執 行 役 員   | 中 西 利 寿   |
| 執 行 役 員   | 米 田 卓     |
| 常 勤 監 査 役 | 高 橋 和 也   |
| 監 査 役     | 中 村 俊 治   |
| 社 外 監 査 役 | 岡 本 太 郎   |
| 社 外 監 査 役 | 天 宅 陸 行   |
|           | 道 上 明     |

## 株式の状況

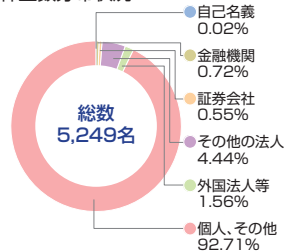
- 発行可能株式総数 170,950,672 株
- 発行済株式総数 42,737,668 株
- 株主数 5,249 名
- 大株主

| 株主名                                    | 持株数(千株) |
|--|---------|
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)              | 2,236   |
| 株式会社三井住友銀行                             | 1,500   |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(退職給付信託みなと銀行口)       | 1,498   |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)                | 1,450   |
| 宮原 幾男                                  | 1,141   |
| 極東開発共栄会                                | 1,082   |
| 三菱 UFJ 信託銀行株式会社                        | 1,012   |
| シービーエヌワイデイエフエイインターナショナルキャップバリューポートフォリオ | 888     |
| 極東開発従業員持株会                             | 888     |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社トヨタ自動車口              | 837     |

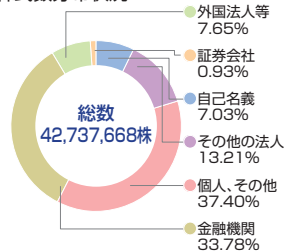
(注) 当社は自己株式を 3,004 千株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。

## 株式分布状況

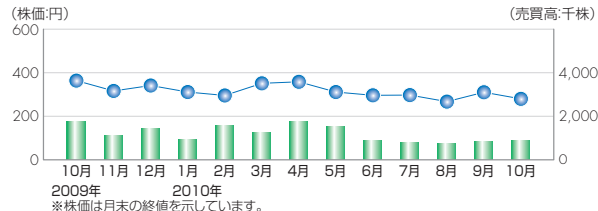
株主数分布状況



株式数分布状況



## 株価・売買高の推移



## 株 主 メ モ

|                        |   |
|------------------------|---|
| 事業年度                   | 毎年4月1日から翌年3月31日まで   |
| 定時株主総会                 | 毎年6月  |
| 配当金受領株主確定日             | 期末 3月31日<br>中間 9月30日  |
| 公告方法                   | 電子公告<br>当社ホームページにて掲載<br>( <a href="http://www.kyokuto.com/">http://www.kyokuto.com/</a> ) |
| 株主名簿管理人<br>特別口座の口座管理機関 | 三菱UFJ信託銀行株式会社   |
| 同 連 絡 先                | 三菱UFJ信託銀行株式会社<br>大阪証券代行部<br>〒541-8502<br>大阪市中央区伏見町三丁目6番3号<br>TEL 0120-094-777(通話料無料)      |
| 上 場 取 引 所              | 東京証券取引所市場第一部<br>大阪証券取引所市場第一部  |

### <ご注意>

- 1.株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 2.特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎいたします。
- 3.未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店でお支払いいたします。

この冊子に関するお問い合わせは下記までお願いいたします。

〒663-8545 兵庫県西宮市甲子園口6丁目1番45号

極東開発工業株式会社 経営企画部

TEL:0798-66-1500

URL:<http://www.kyokuto.com/>

MAIL:[kkkikaku@kyokuto.com](mailto:kkkikaku@kyokuto.com)